

【令和5年度中学校おすすめ本リスト】

NO.	分類	書名	コメント	編著者名	出版社	出版年	価格
1	007	もしChatGPTが文豪や〇〇として カップ焼きそばの作り方などを書いたら	どのようなキーワードを入れたらおもしろい文章ができるのかという著者の 努力の結晶。無料バージョン、有料バージョンとひたすら入力しただろうと 涙ぐましい努力が想像できます。	爺比亭茶斗	光文社	2023	¥1,760
2	007	奇跡のフォント	「教科書が読めない子どもを知って UDデジタル教科書体開発物語」 読み書き障害でも読みやすいフォントがどうやって生まれたのか、書かれた 本。	高田裕美	時事通信社	2023	¥1,800
3	007	中学校の授業でネット中傷を考えた 指先ひとつで加害者にならないために	私立開成中学校の国語の授業で行われた「ネットの誹謗中傷」をめぐる授業 全6回を新聞記者の著者が取材。 2020年に亡くなった木村花さんの母・響子さんによる授業のレポートも 掲載。	宇多川はるか	講談社	2023	¥1,400
4	007	最新ネットのキーワード図鑑	いろんなキーワードをもとにネットのこととそのトラブル・危険性などが紹 介されています。中学生から。	島袋コウ	旬報社	2023	¥4,180
5	019	「若者の読書離れ」というウソ 中高生はどのくらい、どんな本をよんで いるのか	「先生文庫」にあった1冊。読書に関する調査・統計の分析から、10代に 読まれる本の「三大ニーズ」と「四つの型」、児童文庫からラノベ・ボカロ 小説など読まれるカテゴリーの時代変遷や嗜好の変化などの分析本。	飯田一史	平凡社	2023	¥980
6	104	まんがで哲学 哲学のメガネで世界を見ると	「3つのハテナのメガネ」＝「なんで?」「もしも」「そもそも」や問いの 重ね方など、哲学を実際に取り入れてみる方法がわかる本。哲学については 6月24日からシネモンドで公開予定の「ぼくたちの哲学教室」という映画 も。	河野哲也 監修	ポプラ社	2023	¥1,800
7	130	「自分の意見」ってどうつくるの?	フランスの高校生が哲学の授業で必ず学ぶ「考え方」「自分の意見の作り 方」「意見の主張の仕方」。その授業で使用されるメソッドをもとに作った 5つのステップで「考えるときの考え方」をわかりやすく紹介。	平山未希	WAVE 出版	2023	¥1,500

8	159	あした死んでも後悔しないためのノート Special	1年道徳「いのちをかんがえる」指導書で紹介されている「あした死ぬかもよ？」の実践ワークブック。「自分の死亡記事に何と書かかれたいか」を授業で使用。	ひすい こたろう	ディスカ ヴァー・トウ ン ティーン	2020	¥1,320
9	316	キミならどう解決する？ SDGs人権編	世界が直面する18の人権問題を扱ったSDGsビジュアル図鑑。3年英語Unit6アクティビティ「100人の村の世界」で使用。	小学校社会科 授業づくり 研究会	誠文堂新光社	2023	¥3,520
10	366	LLブック 仕事に行ってきます。10 図書館の仕事	LLブックは、そのままでは読みづらい人のために、わかりやすく読める工夫がされている本。「読書バリアフリー法」が制定されているので整備しておきたい。	野口武悟 監修	埼玉福祉 出版部	2021	¥2,420
11	366	LLブック 仕事に行ってきますプラス。1 休けい上手になろう	LLブックは、そのままでは読みづらい人のために、わかりやすく読める工夫がされている本。「読書バリアフリー法」が制定されているので整備しておきたい。	野口武悟 監修	埼玉福祉 出版部	2022	¥2,420
12	378	読み書き障害のある人へのサポート入門	北陸大学の河野先生が研究されているディスレクシアのこと、具体的な支援方法、詳しい巻末資料など職員図書におすすめ。研修でも活用できます。	河野俊寛・ 平林ルミ	読書工房	2022	¥2,200
13	378	わくわく！納得！手話トーク	手話の教則本ではなく、「手話とは何か」について学ぶ本。日本手話と日本語対応手話との違い、ろう文化など、手話を言語的・文化的視点から解説。マンガ・写真もあってわかりやすい。「聴者が日本手話を学ぶということは、外国語を学ぶのと同じことになります」（本文より）	松岡和美	くろしお出版	2021	¥1,320
14	383	歴史ごはん 信長・秀吉・家康たちが食べた料理	縄文時代から大正時代までの料理と時代背景、料理の作り方を紹介。2年英語洋食、逆輸入された料理（カレーライス）についての単元で使える。	永山久夫 ／監修	くもん出版	2020	¥3,960
15	402	マンガと図鑑でおもしろい！ わかるノーベル賞の本	ノーベル賞の展示をする時に新しい本でとっつきやすいものを探していて見つけた本。ノーベル賞の自然科学部門（物理学、生理学・医学、化学）について、前半は身近なものがノーベル賞と関係していることをマンガで解説し、後半はノーベル賞図鑑になっている。マンガの中で出てきたノーベル賞の図鑑ページも書いてあるので、理解が深まる。	うえたに夫婦 ／著 若林文高 ／監修	大和書房	2023	¥1,760

16	454	なぜ、その地形は生まれたのか？	ジオパークコーナー用に購入。見開きで1か所の地形について紹介してある。「白山中腹はなぜ崩れた」「手取川になぜ巨石が鎮座」の項目がある。	松本穂高	日本実業出版社	2022	¥1,760
17	457	恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ	化石を求め、年間3分の1は海外へ出かけ、灼熱や濁流と闘い、時にグリズリーと遭遇する。探検家のように危険なフィールドを歩む、恐竜研究者による熱くてスリリングな発掘記。(2019年発行、2022年文庫化)	小林快次	新潮社	2022	¥781
18	457	恐竜・古生物に聞く第6の大絶滅、君たち〈人類〉はどう生きる？	「ホモ・サピエンスのみなさん、今日も元気にお過ごしですか？」恐竜たちがラジオDJになって絶滅について解説!? これまでに5回も起きた大絶滅から、私たち人類が学べることは？理科の先生がブックトークでおすすめした本。	土屋健	イースト・プレス	2021	¥1,760
19	459	世界観設定のための宝石図鑑	宝石についての科学的解説もあるが、歴史的エピソードの記載に重点が置かれている。人々は宝石の輝きに魅了され、時代を越えて物語を見出してきた。宝石が登場する文学作品からの引用もあり。(宮沢賢治、江戸川乱歩等)	飯田孝一	エクスナレッジ	2022	¥2,420
20	489	命の境界線 保護されるシカと駆除される鹿	奈良公園で大切にされているシカと滋賀県多賀町で有害獣として駆除されるシカにスポットを当てている。同じ野生のニホンジカなのに、保護される命とは？奪われる命とは？人間と野生動物の共存について考える。環境問題や修学旅行に向けても紹介できる。	今西乃子	合同出版	2021	¥1,650
21	490	未来の医療で働くあなたへ	3年国語「人工知能との未来」の関連資料として展示。具体的な未来の医療について書かれていて、希望が抱ける内容。進路の本としてもよい。	奥真也／文	河出書房新社	2021	¥1,562
22	493	凹まない100の習慣	自分の状態に気づく→習慣を変える→凹まない自分をつくる。シンプルで簡単に出来ることが多い。イラストも柔らかい印象です。見開き半分はイラストなので、絵を見るだけでも気持ちが軽くなる。	工藤孝文／著 こいけえみこ／イラスト	WAVE出版	2021	¥1,650
23	493	感覚過敏の僕が感じる世界	感覚過敏の人は、世界をどのように感じているのか。「わがまま」として見過ごされやすい特有の感じ方について、16歳の高校生が実体験を交えて伝える。「同じものを見て触れても、感じるものは人それぞれ違います」(著者の母の言葉・本文より)。	加藤路瑛	日本実業出版社	2022	¥1,540

24	498	精神科医が教えるストレスフリー超大全	養護教諭からのおすすめ。中学生向けというわけではないが、悩みや不安、疲れをとるためのパターンや解決策などが網羅されている。	樺沢紫苑	ダイヤモンド社	2020	¥1,760
25	595	LLブック マシロさんとユウリさんの今日もきちんと身だしなみ	LLブックは、そのままでは読みづらい人のために、わかりやすく読める工夫がされている本。「読書バリアフリー法」が制定されているので整備しておきたい。	読書工房	国土社	2022	¥3,200
26	675	パッケージデザインのひみつ	普段何気なく使っている商品のパッケージデザインに込められた工夫や秘密を紹介。	日本パッケージデザイン協会	グラフィック社	2023	¥1,980
27	726	旅のネコと神社のクスノキ	広島原爆に関する絵本。おふたりの共作で、今年続編が出るらしいです。広島原爆を、今までにない視点「陸軍被服支廠」という被服工場から描いています。池澤さんの原爆などの歴史観もあとがきに書かれており、歴史の見方や考え方の勉強にもなる。	黒田征太郎 池澤夏樹	スイッチ・パブリッシング	2022	¥1,870
28	726	ちばあきおを憶えていますか 昭和と漫画と千葉家の物語	野球漫画『キャプテン』『プレイボール』の作者・ちばあきおの長男である著者が関係者への取材を通して日本の漫画史をも描き出すノンフィクション。41歳の若さで亡くなった父の足跡をたどる。漫画を小説にしたシリーズ『キャプテン』ちばあきお／原作 山田明／小説 (Gakken) がよく読まれているので購入した。	千葉一郎	集英社	2022	¥1,760
29	726	家がすきな人	コミックですがオールカラーで絵本感覚。作者は「ぼくのまつり縫い」の挿絵作家さん。家が好きな人達の間取りやインテリア、家で過ごす時間が描かれていて、癒されます。一人暮らしに憧れる人にもおすすめです。	井田千秋	実業之日本社	2023	¥1,700
30	761	「音楽する」は脳に効く	音楽科の先生からのリクエストで購入。音楽と脳の関係について書かれているので、そこから音楽に関心を持ってくれないかなあとということで音楽室に展示中。	重野知央	Gakken	2022	¥2,200
31	778	アニメができるまで	アニメの企画がスタートして、テレビ放映や劇場公開されるまでの制作工程を、アニメ監督と中高生との対話形式で紹介。アニメーターや声優が目玉されがちだが、もちろんそれだけでアニメが出来上がるわけではない。アニメを仕事にしたいと思っている人におすすめ。	大塚隆史	飛鳥新社	2022	¥1,650

32	814	世にも美しい三字熟語	三字熟語を調べたいという生徒がいたので購入した。日本の情景を表す言葉などがあり、風情を感じられるものが多い。四字熟語ほど利用はないが語彙力を高めるために役に立つ。	西角けい子	ダイヤモンド社	2021	¥1,540
33	910	古典モノ語り	「牛車」「扇」「御帳台」「築地」など、日本の古典文学に登場する物たちが登場する場面を取り上げ、説明がされています。道具を通して、時代背景の理解や文学作品の新たな視点・見方ができるようになる本です。	山本淳子	笠間書院	2023	¥1,900
34	911	超訳古今和歌集 #千年たっても悩んでる	3年国語で和歌を令和バージョンに訳すると…という課題で紹介。	noritamami	ハーバー コリンズ・ ジャパン	2023	¥1,320
35	913	ナカスイ！海なし県の水産高校	海がない内陸県にある水産高校を舞台にマニアックすぎる授業やキャラの濃い同級生たちとの青春を描く。実際に栃木県にある高校がモデルとなっています。今月、海洋実習編の2巻が発売。	村崎なぎこ	祥伝社	2023	¥1,760
36	913	雨にシュクラン	「リマトウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ」では、マレーシア語と短歌がテーマになっていて、この作品は書道とイスラム文化がテーマになっている。高校を中退した少女がアラビア文字の書道を通じて、自分の進む道を選んでいく。主人公は高校一年生だが、文章量が少ないので、高学年でも読めると思う。	こまつあやこ	講談社	2023	¥1,540
37	918	いとエモし。 超訳日本の美しい文学	枕草子や万葉集などの古典文学を超訳し、綺麗なイラストとともに掲載。	koto	サンクチュアリ 出版	2023	¥1,628
38	E	ゆうこさんのルーペ	視覚障がい者の方からおすすめされた絵本です。 絵本を通して、視覚障がいのこと、接し方がわかる本。	多屋 光孫/文 絵はが ゆうこ /原案 ふじい かつの り/監修	合同出版	2020	¥1,800
39	E	ジャーニー国境をこえて	戦争から逃れ、国を離れ、安全な場所を求めて旅に出る親子の姿を描いた絵本。人権や平和のブックリストに入れています。SDGsで移民や難民について調べる前に読みきかせをしても。 出版社HPのこの本のページに「この絵本を題材に人権を学ぶワークシートが載っています。（作成/アムネスティ・インターナショナル英国支部、翻訳/きじとら出版）」	フランチェスカ・サンナ/作 青山真知子/訳	きじとら出版	2018	¥2,200